

NO. 10

## 新住友ビルディング

所在地 東京都千代田区丸の内

設計 日建設計工務株式会社

施工 清水建設株式会社

竣工 昭和31.7~34.4.16(2年9ヶ月間)

選評 中田亮吉

大手町の一角に竣工した新住友ビルディングはその施主たる住友銀行頭取堀田氏の述べられた竣工の御挨拶にもある様に住友の伝統たる質実清楚且つ、堅牢を旨として設計施工された建物である。

私はこの建物を一巡して先づ感じたことは、施主と設計者、施工者三者の完全なる協力によって完成された建物であることであった。

最近竣工した多くの建物に見られる様にただその外観のみに重点をおき実質的な平面および施工面においてややお粗末な傾向が数多く見られるが本建物は外面の窓その他開口部にはすべてシャッターをつけて、あらゆる災害に対して防禦を考えまた全面を二重サッシュ又はペアガラスとし街の騒音から完全に遮断しており内部に入ればあたかも深山に居るような感じである。

設備についても完全な空気調節、電気設備、機械設備とを備えている。施工についてもまことに慎重な計画の下に行われ、工期も充分とり、その施工の為に周囲の道路及他の建物に与えた影響も殆どなく、鉄骨工事については全溶接工法を採用されている。工事中の事故も殆んど皆無に近く完全な安全工事であったと聞く。外観は施主の強い御希望により全く地味にあくまでも目立たないよう苦心されたと推察せられる。昭和34年4月竣工以来満1年4ヶ月を経た今日も何らの故障もなく、雨漏り、地下の漏水、亀裂等全く見あたらない。すべて現在の施工技術の粋を集めた建物といえよう。

最後にこれだけの工事ができるようにその経費も十分に与えられた訳であり、その施主の理解があって始めてこれだけの建物が出来上がったことは最も注目すべきことで、施主の高い理解と認識の下においてこそこのような名建築が生れることを社会に対し声を大にして宣伝されるべきであろう。

新住友ビルディング New Sumitomo Building, Tokyo

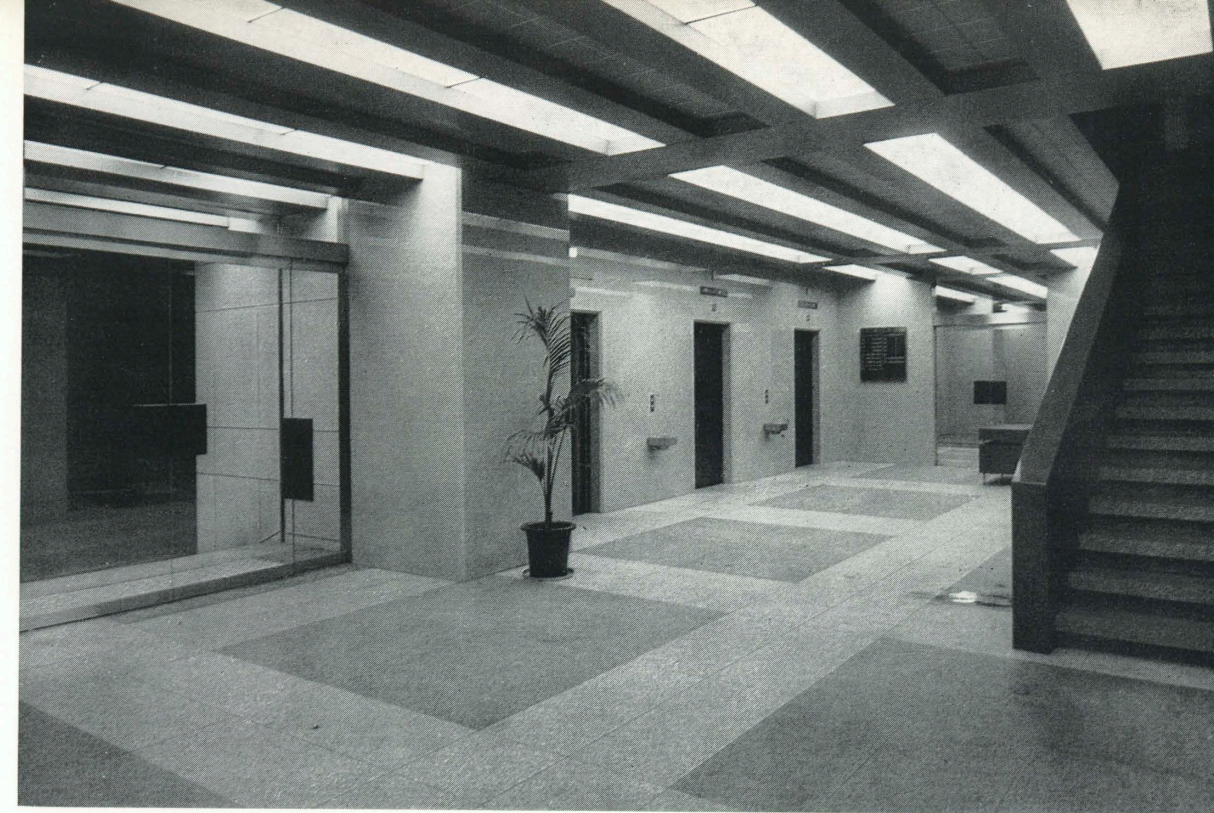




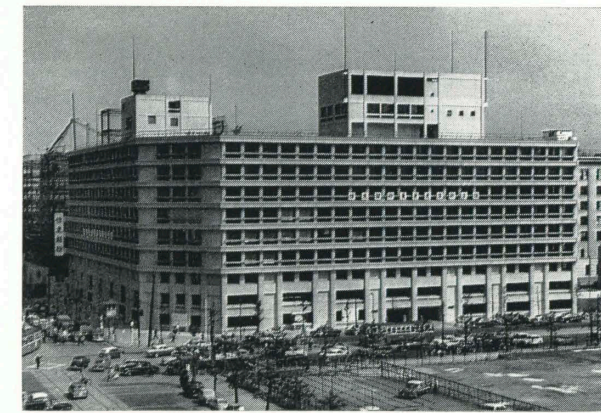


営業室

営業室

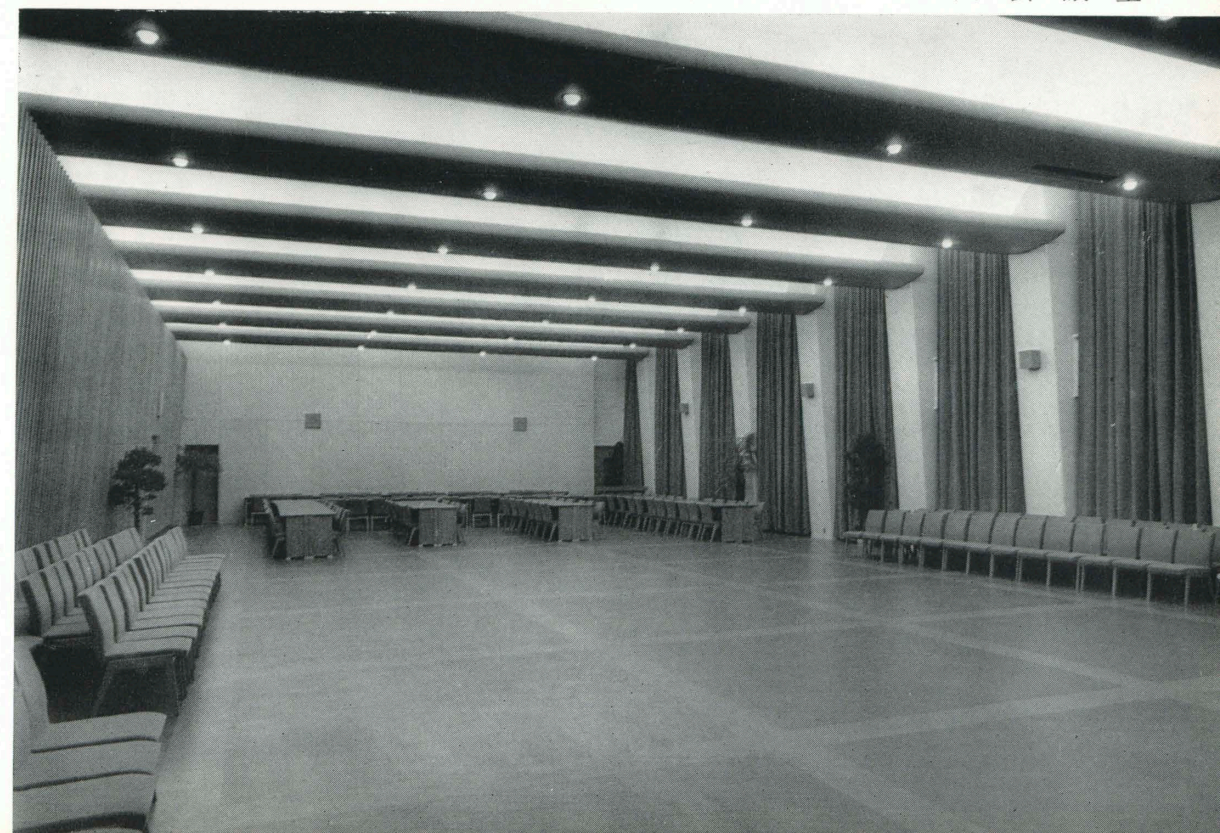


玄関ホール



外観

大会議室









# 工 事 概 要

所 在 地	東京都千代田区丸の内1丁目8番地の6		
敷 地 の 面 積	5,956.29 m <sup>2</sup> (1,801.77 坪)		
建 物 の 面 積	建 築 面 積	4,012.65 m <sup>2</sup> (1,213.82 坪)	
	延 面 積	49,364.53 m <sup>2</sup> (14,932.76 坪)	
工 期	着 工	昭和 31 年 5 月 23 日	
	竣 工	昭和 34 年 4 月 16 日	
構 造	鉄骨鉄筋コンクリート造		
階 数	地下3階 地上9階 塔屋3階		
高 さ	標準地盤より	パラペット迄	31.00 m
	"	塔屋上端迄	43.00 m
深 さ	"	基礎下端迄	14.58 m
外 装	花崗石, 竜山石及擬石		
	サッシュ二重, 1—3階ステンレス製		

## 空気調和及設備換気備

全館を 24 系統に分け電子管制御により温湿度調整を, 電気集塵器により塵埃除去を, 又営業室のみ輻射暖房を, 遠方操作にて空気調和を行う, 換気は車庫倉庫, 機械室, 便所, 湯沸室に行う。

## 衛 生 設 備

上水, 井水, 給湯, 冷却水, 茶ガラ排水, ガス, 炭酸ガス, 及消火設備を有す。

## 電 気 設 備

受 電 設 備 22,000 ボルトにて受電, 特高変電所にて 3,300 ボルトに遁降し 9 カ所の高圧変電所で所要電圧に変圧の上全館に配電する, 全館の電気及機械設備は中央監視盤にて監視制御する。

停 電 設 備 非常用蓄電池 600 AH

発 電 機 ディーゼル機関に依る発電機 (375 KVA) 2 台

動 力 設 備 高圧電動機 7 台 低圧電動機 300 台

電 灯 設 備 蛍光灯 13,200 本, 水銀灯 15 コ, 白熱灯 810 コ

弱 電 設 備 電気時計, 拡声機, 呼出, 出退表示, 応接表示, 自動車在庫, 自動車通報警報, 火災警報, テレタイプ, ラジオ・テレビ共同聴取

電 話 設 備 中継台 6 カ所, 自動交換機, クロスバー方式 2,000 回線

昇 降 機 設 備 客用直流ギヤーレス型 150 米/分 13 名 8 台

人貨用直流ギヤード型 90 米/分 16 名 1 台

" 交流 2 段 30 米/分 16 名 1 台

リフト 15 米/分 400 kg 3 台